

## 新型コロナウイルス感染症対策に関わるご支援をいただきました。

新型コロナウイルス感染症が拡大し、4月初めには岐阜県でも緊急事態宣言が発出されておりました。医療機関でも衛生用品が不足しているという各種報道を機に、法人・企業の方々や個人の方より、当院へ多くのあたたかいご支援をいただきました。改めまして厚く御礼申し上げます。

ごく一部のご紹介となりますが、羽島薬剤師会様より防護用品フェイスシールドの寄贈、株式会社セブン-イレブン・ジャパン様より、ゼリー飲料やカップラーメン等の食品、飲み物などの商品の寄贈をいただいております。

ご支援いただいた物品につきましては、最前線で活躍する職員に優先して配布するなど、当院の医療活動に有効活用をさせていただきます。今後とも、地域の方々に安心安全な医療を提供できるよう努力してまいります。

### たくさんのご支援、心より御礼申し上げます。

日付	氏名・企業名	ご支援いただいた内容
4月20日	山崎 芳裕 様	マスク
4月21日	コストコ羽島倉庫店 様	マスク
4月24日	株式会社フジナ 様	マスク
4月28日	東洋羽毛販売株式会社 様	マスク
4月30日	羽島薬剤師会 様	フェイスガード
5月1日	株式会社セブン-イレブン・ジャパン 様	商品の寄贈
5月1日	寺田 和成 様	マスク
5月11日	株式会社AIKIリオテック 様	マスク
5月15日	ツカサ食品株式会社 様	マスク

掲載了承済み・順不同(2020年5月22日時点)



▲株式会社セブン-イレブン・ジャパン様よりご支援いただきました



▲羽島薬剤師会様よりご支援いただきました



次のページは、「炎症性腸疾患」について

## Matsunami Information

### NEWS

#### 新型コロナウイルス感染症に関する面会禁止、夜間施錠について

当院では、入院患者さんを新型コロナウイルス感染症からお守りするため、面会禁止とさせていただいております。病院からの連絡がない限り、お着替えの持参等も禁止させていただきます。今後の面会の制約につきましては、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて、病院ホームページ等でご案内します。また、各施設の出入り口の夜間施錠を行っております。当院をご利用の皆さまには、多大なご迷惑とご不便をおかけしますが、何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。

**北館1階南出入口**  
 ■平日：18時00分～翌7時00分  
 ■土曜：12時00分～  
 ■日曜・祝日：終日

**北館立体駐車場側出入口**  
 ■平日：14時00分～翌7時00分  
 ■土曜：12時00分～  
 ■日曜・祝日：終日

**南館正面玄関**  
 ■平日：18時00分～翌7時30分  
 ■土曜：12時30分～  
 ■日曜・祝日：終日

※北側の正面玄関は西出入口を終日施錠、東出入口を終日開放します。

#### 看護師特定行為研修受講承認通知書授与式を行いました。



5月11日(月)に、看護師特定行為研修受講承認通知書授与式を行いました。

特定行為とは、法律で定められている看護師業務の一つである「診療の補助」を、医師が作成した手順書をもとに看護師業務を行う際に「実践的な理解力」、「思考力および判断力」、「高度かつ専門的な知識および技能」が必要な行為のことを指します。特定行為には、全部で38の行為があります。

当院は、今年2月に「呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連」の特定行為研修機関の指定を受けました。今回は、第一期生となる浅野真里看護師(まつなみ訪問看護ステーション所属)と藤川英之看護師(松波総合病院HCU所属)の研修受講承認通知書授与式を執り行いました。研修は1年間で、臨床実習やパソコンを使つてのe-ラーニング(遠隔教育)などを行います。

この特定行為研修を修了すれば、重篤な呼吸障害を抱える患者さんの気道確保のための特定行為を、医師の指示を受け、手順書に沿って行えるようになります。

#### 駐車場のご案内

立体駐車場への入庫は、左折のみとさせていただきます。右折入庫は渋滞の原因となりますので、右折入庫をなさらないよう、ご理解とご協力をお願いいたします。



#### ARアプリ COCOAR2導入しました!!

アプリを起動し、「月刊まつなみ」の表紙でお試しください!!



ダウンロード・詳しい使い方はこちらから! (リンク先は病院HPです)



#### 社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院

〒501-6062 岐阜県羽島郡笠松町田代185-1

TEL 058-388-0111 (代)

FAX 058-388-4711

http://www.matsunami-hsp.or.jp/



えん しょう せい ちょう しっ かん

# 炎症性腸疾患という病気を知っていますか？

比較的若い世代が発症する病気と言われ、年々患者さんが増えている病気です。症状や当院での治療法などについて、ご紹介します。

## 炎症性腸疾患とは？

人間の体内には、ウイルスや細菌などの異物を体内への侵入から防ぐために攻撃する「免疫」が、存在します。免疫は、体内への異物の侵入を防ぎ、身体を正常に保つために、腫れや痛み、発熱などの反応を起こします。この反応を「炎症」と言います。炎症は、身体にとって必要不可欠な反応ですが、過剰な反応を起こすことで、体内を傷つけてしまう場合があります。

炎症性腸疾患は文字通り、腸に炎症が起きて、腹痛や下痢などの症状が慢性的に起こる病気です。炎症性腸疾患は、薬や細菌などにより発症したという原因が判明している「特異的炎症性腸疾患」と、原因が判明していない「非特異的炎症性腸疾患」に分類されます。非特異性炎症性腸疾患には、主に潰瘍性大腸炎とクローン病があります。この潰瘍性大腸炎とクローン病は、発症後約10年以上経過すると、大腸などの病変箇所からがんが発生しやすくなることが判明しています。炎症が強く、治療が不十分だった症例については、発がん性が高くなってしまいます。近年、炎症性腸疾患には有効な新薬が次々と開発され、それまで治療が難しかった患者さんの病状が画期的に改善するようになってきています。患者さんによりますが、がんの早期発見のためにも、定期的な内視鏡検査が必要です。

今年4月より、荒木医師が炎症性腸疾患センター長として赴任し、これまで以上に治療に注力していきます。今回は、潰瘍性大腸炎とクローン病の症状や治療方法などをご紹介します。

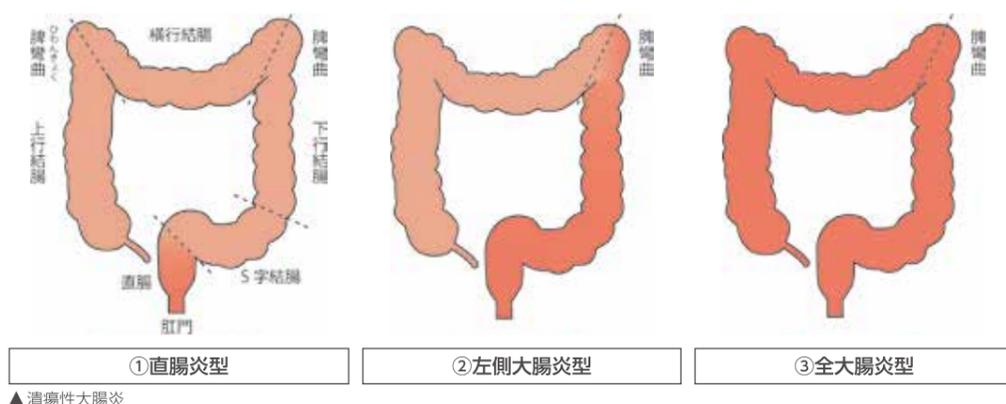
## 潰瘍性大腸炎

潰瘍性大腸炎は、大腸に炎症が起きます。発症の原因は、免疫の異常や生活習慣・遺伝などと関連があると考えられて、研究が進められていますが、原因は不明です。このため、潰瘍性大腸炎は国が指定する「指定難病」の一つとされています。

発症する年齢は、10歳代後半から20歳代が多いと言われていますが、高齢者にも発症する機会も増加しています。発症する男女比に差はありません。症状としては、代表的なものでは下痢や血便がおきますが、強い腹痛や発熱を伴う場合もあります。重症例は少なく、全体の約9割が軽傷～中等症と言われています。

炎症の広がり方には3つのタイプがあり、直腸のみに炎症が起こる「直腸炎型」、直腸を超えて脾湾曲部(ひわんきょくぶ)まで炎症が広がる「左側大腸炎型」、脾湾曲部も超えて大腸全体まで炎症が広がる「全大腸炎型」があります。

治療法として、近年では、点滴注射や皮下注射、内服薬などの新たな治療法が開発され、難治(なかなか症状がよくなる)患者さんに対する治療が進歩しています。また、今後さらに新たな薬剤が登場する予定です。



▲潰瘍性大腸炎

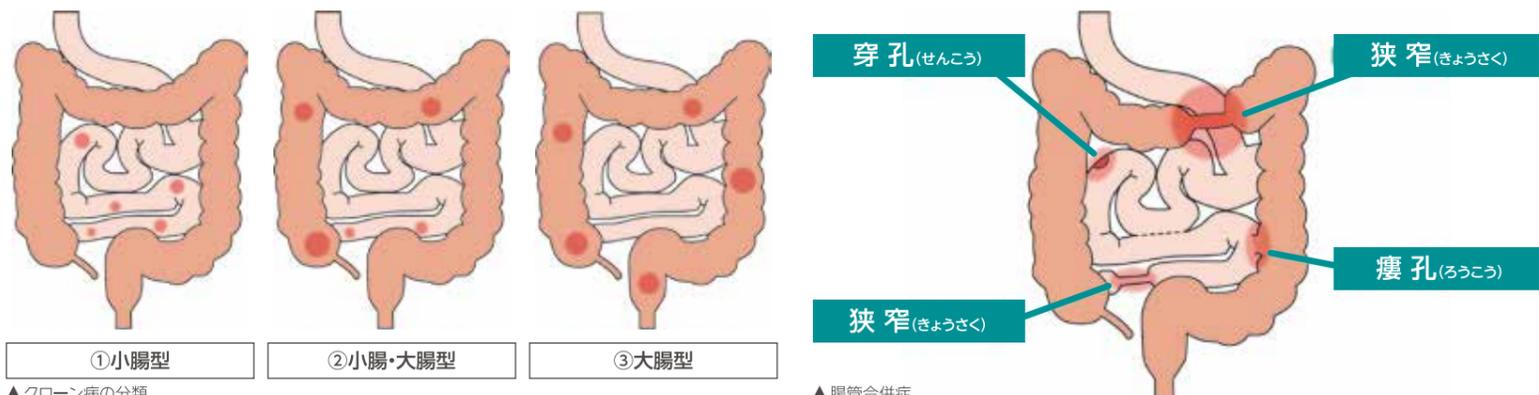
## クローン病

クローン病は、小腸や大腸だけでなく、口腔や肛門まで消化管のどの部位にも炎症が起き、びらん(ただれること)や潰瘍ができる病気です。発症原因は、食事を含む生活習慣が西洋化したことへの影響が大きいのではないかとされていますが、潰瘍性大腸炎と同様に、直接的な原因が明らかにされておらず、国が指定する「指定難病」の一つにされています。

発症する年齢は、10歳代前半から20歳代が多いと言われています。潰瘍性大腸炎と比べて、より若い患者さんが多い疾患です。男女比は2:1と男性の方が発症しやすいと言われています。症状として、主に発症するのは下痢や腹痛で、血便、発熱、体重減少などが起こる場合もあります。また、若い方で治りにくい痔で、病気が発見されることもしばしばあります。

クローン病には、炎症や潰瘍ができる位置による分類があります。主に小腸にできるのは、「小腸型」、小腸や大腸にできるのは、「小腸・大腸型」、主に大腸にできるのを「大腸型」と3つに分類されます。また、炎症が粘膜の深いところまで進行する「腸管合併症」を発症する場合があります。腸管合併症には、炎症を繰り返すことで腸管の内側が狭くなる「狭窄(きょうさく)」、深い潰瘍ができることで腸管に穴が開く「穿孔(せんこう)」、腸管どうしや他の臓器と繋がってしまう「瘻孔(ろうこう)」があります。

治療法として、近年、点滴注射や皮下注射の新たな治療法が開発され、難治(なかなか症状がよくなる)患者さんに対する治療法が進歩しています。従来手術を受けなければならない患者さんが多い疾患でしたが、内科的治療で症状を安定させることが可能になってきています。今後、さらに新たな薬剤が登場する予定です。



▲クローン病の分類

▲腸管合併症

## 担当医師プロフィール



副院長 兼 光学診療センター長  
兼 炎症性腸疾患センター長  
**荒木 寛司**  
(あらか ひろし)  
(1989年 岐阜大学 卒業)

### 専門分野

- ▶ 消化器内視鏡診断・治療
- ▶ 炎症性腸疾患
- ▶ 門脈圧亢進症

### 資格

- ・日本内科学会:総合内科専門医
- ・日本消化器病学会:専門医、指導医
- ・日本消化器内視鏡学会:専門医、指導医
- ・日本門脈圧亢進症学会:技術認定医

### 所属学会

- ・日本内科学会
- ・日本消化器病学会
- ・日本消化器内視鏡学会
- ・日本肝臓学会
- ・日本門脈圧亢進症学会
- ・日本癌学会

### 略歴

- ・1989年 岐阜大学医学部 卒業
- ・1989年 岐阜大学医学部附属病院 第一内科 研修医
- ・1989年 高山赤十字病院 内科 研修医
- ・1990年 国立湊病院 内科
- ・1991年 岐阜市民病院 消化器内科
- ・1993年 岐阜県厚生連養老中央病院 内科
- ・1999年 岐阜大学医学部附属病院 第一内科 医員
- ・2003年 岐阜大学医学部 消化器病態学助手
- ・2004年 岐阜大学医学部附属病院 生体支援センター 助手
- ・2005年 岐阜大学医学部附属病院 生体支援センター 臨床講師
- ・2006年 岐阜大学医学部附属病院 光学医療診療部 講師
- ・2008年 岐阜大学医学部附属病院 光学医療診療部 准教授
- ・2013年 岐阜大学医学部附属病院 光学医療診療部 部長
- ・2018年 岐阜大学医学部附属病院 光学医療診療部 臨床教授
- ・2020年 松波総合病院 副院長・光学診療センター長・炎症性腸疾患センター長